



# FRIENDS

The Friendship Force of Saitama 会報 第 75 号 (2009)

## バーベキューと一泊二日の親睦会

### 一泊親睦会報告

西村すみえ

5月16(土)17(日)熊谷からバスで20分ほどのホテルヘリテイジにて1泊2日のFFさいたま親睦会を開催しました。

昨年のアンケートの中に「会員間の交流の機会をもっと持ちたい」「渡航時のお土産作りをしたい」とのご意見がありました。

すぐに実行したい!先ずは一泊、それも忙しい方が日帰り、または後から参加も可能な所と検討の結果、今回は武蔵丘陵のみどり美しい場所に決定、中身を充実させ又参加し易い価格でとホテルとの数回にわたる交渉の甲斐あって25名の参加者を募ることが出来ました。

一日目はプールサイドでのバーベキュー、軽いダンス、汗を流した後の温泉浴。

夕食は中華料理、思いがけずのホタル観賞その後2グループに分かれてワークショップ。岩崎さんをリーダーに足指体操、高橋京子さんからはお土産作りにも喜ばれる折り紙を使った箱などを教えて頂き大満足。宿泊部屋は阿弥陀クジにて決定。

2日目は、早朝よりゴルフ、テニス、40分ほどの遊歩道、朝風呂など自由解散となりました。何とも楽しい時間でした。今回参加を逃した方次回はずいひ!!!



### 緑の中で貴重な会員交流

渡邊 妙子

県内でも、こんなに近く交通の便もいい熊谷に、四季の湯があったんですね。驚きです。静かで、広大な敷地、緑も豊富に、その上虫も観賞でき、絶好の場所でした。そんな場所で、会の皆さんと貴重な交流ができたことを嬉しく思いました。

普段、何のお役にもたてない私にとって、このふれあいの大切さ 又クラブ内での親睦の大切さをとても痛感しました。

これからの国際交流に息のあったおもてなしにも、大変役立つこと請け合いです。

時には、このような行事も必要に思います。

そして、多くのメニューを用意された皆様に、お礼申し上げます。



(緑の中で交流)

### ディナーの後できくち体操

岩崎倉子



(4卓に分かれディナー)

膝を曲げて歩いている方を見るとこれ以上悪くしないで！ 自分でなおせるのにな～と思ってしまいます。意識しながらご自分の感覚を使って体を動かし続けていけば自分で直すことができます。

**これがきくち体操。**

私が初めて二人組になり相手の足の指と自分の足

の指で握足？した時は痛い痛いと大変でした。この難しい体操をFFの方は平気でこなしているのにはびっくり。

皆さんすご～い！

皆様のご協力のお陰で楽しいひと時が過ぎました。 有難うございました。

## 埼玉大学 留学生受入

### 埼大留学生ワンナイトステイ

宇田 祐子

埼玉大学のスリランカ人留学生ティレニと、夫のジッドが我が家に来てくれました。2人は結婚してまだ半年、とても仲良しのかわいらしい夫婦でした。我が家に着くなり、手作りのケーキを「つまらないものですが・・・」と差し出してくれてびっくり。でもジッドは日本に住んで5年になると聞いて納得です。 なかなかの日本通でした。

日曜日、花田苑でお茶や生け花の体験をしたり、近所のレイクタウン周辺を散策して過ごしました。とても興味深く楽しんでくれた様子、それに私たち家族にとっても文化や地域を見直すいいきっかけになりました。(私の夫も生け花体験は初めてでした・・・)

建築を勉強しているティレニはレイクタウンが治水対策を目的としたまちづくりであることや環境に配慮したつくりで



あることにも興味を持ってくれたようです。 近くに住んでいることだし、また帰ってきてね、と約束して別れました。ステキな出会いの機会をありがとうございました。

## バングラディッシュのナイスガイ 沼 純子

マハタブさんは、バングラディッシュの大学の講師で、お国には美人の奥さんと双子のお子さんがいます。博士号をとるために来日、埼玉大学で流体力学の研究をしています。

大宮公園内の「民俗と歴史の博物館」や氷川神社を案内し、アルディージャのホームゲームの喧騒ぶりもちょっと見学。帰りに「広島焼き」を食べました。眼の前で焼いてくれるお好み焼に興味津々でした。近くオーストラリアの学会に出席するそうです。



(一日で立派なマジシャン!)

## バングラデッシュからの留学生 堀切 京子

昨年、10月来日という埼玉大学の留学生SALMAは生物学専攻の28歳の若い女性。

我が家に一泊のステイを希望との話だったが、4月から彼女の父親と子供(1才)がしばらく滞在しているとのことだった。私たちは話し合った結果、ステイは次回に期して我が家でランチパーティをすることになった。

サリーの正装をしてやって来た彼女と彼女の父親はとても穏やかで礼儀正しく、すぐに私たちは打ち解けた。

料理は和洋折衷、寿司にサンドイッチそして、インドに赴任していた友人から頂いたスパイスをふんだんに使ったカレーを作った。彼女の国の話やら日本での生活の話等、話が弾み尽きなかったが、あっという間に時間が経ち再び



会えることを約して彼女たちは帰った。私は、母国に帰ったらリーダーとして活躍するに違いない彼女に密かにエールを送った。

## モロッコを旅して

## 岸田 正二郎

今回旅行先をモロッコにしたのは、妻の古い友人の樋口明子さんを訪ねる事でした。彼女はJICA派遣のシニアボランティアでアガディールにある調理師養成学校の講師として昨年4月より2年間の在任中です。

モロッコの主な産業は農業、牧畜、手工芸のようです。年間300日は晴天という乾燥したやせた土地が殆どですが、そこで生育するナツメ、オリーブ、アルガン、オレンジなど。スイカも豊富で楕円形の大きなものでは女性が一人で持ち上げられないほどです。味も上等。

工業生産は少なく、特産の絨毯、革製品作りも殆ど手作業のようです。各所で工房を見学しました。鍛冶屋さんもあり、60年以上前の日本のように全て人力で鉄の加工をしているのを各地で見ました。建築用の鉄筋の切れ端で馬の蹄鉄を作っているのを見ました。

国を縦断するアトラス山脈(最高峰は4,167m)を越える最高地点2,000m以上の道路(国道9号線、ワルザザード、マラケシュ間)には、橋もトンネルも全くなく、険しい山肌通りに曲がりくねっている道をトレラーやバスも通っている、現在の



日本では想像も出来ない光景です。

砂漠で野宿するという貴重な体験をしました。自動車で行ける最終地点の基地から、ラクダに乗って1時間半程砂漠の中に入ったのもです。暑さを避けて夕方出発し、星空の下で夕食をとり、翌朝日が高くなる前に戻ります。

朝の砂漠の砂の上には、夕方見られなかった動物足跡が沢山あり、形や大きさもいろいろで興味深いものがありました。

## 新入会員自己紹介

皆さんこんにちは。安藤 純子（すみこ）です。

「すみこ」は、沼会長と同じ読み方とのこと…光栄です。

入会のきっかけは、現会員の橋本斉子さんからフレンドシップ・フォース（FF）のすばらしさを伺っていたとによります。

会員皆さまのお知恵を拝借しながら FF の精神に基づいて活動できれば幸いです。

英語がダメでシャイな私ですが、どうぞよろしく願いいたします。

この度入会させて頂きました原田文です。

ニュージーランド訪問に早速参加ということで過日自己紹介文（英文）を提出いたしました。下手の横好きで続けてきたコーラスを趣味と書いてしまったことを少し後悔しております。

心優しいホストファミリーが合唱の練習に飛び入り参加をすすめてくださったらどうしようと妄想しています。

## クラブからのお知らせ

### 埼玉県国際フェア

秋の県国際フェアに展示参加します。ブースでの案内などお手伝いできる方はどうかお申し出ください。渡航と重なり人手が足りません・・

日時： 10月30日（金）、31日（土） 10:00～17:00

場所： さいたま新都心のけやきひろば

### 関東ブロック会議（西東京クラブ主催）

東京クラブ、西東京クラブ、埼玉クラブの3クラブが年一回、情報交換や親睦を兼ねて開いております。皆さま大勢ご参加ください。詳細は追ってお知らせいたします。

日時：11月22日（日） 午後

場所：つくし野のセンター（町田市）

### 2010年渡航・ED募集

2010年4月 カナダの Penticton-Okanagan クラブの受け入れをします。

（EDは岸田正二郎さんに決まりました）

秋（9月頃）のドイツ渡航（Gelsenkirchen クラブ）EDを募集いたします。

受け入れ、渡航、いずれの場合も、EDへのサポート体制をきっちりと組み、負担をできるだけ軽くしていきたいと思っています。どうかご協力をお願いいたします。

### 埼玉クラブ会員募集

FF埼玉のちらしを同封させていただきますので、英語のクラスや、ホームステイ、国際交流に関心のある方に呼びかけてくださいますようお願いいたします。

編集・発行

ザ・フレンドシップ・フォース・オブ・埼玉 事務局

〒331-0815 さいたま市北区大成町4-202

TEL : 048-664-2723 FAX : 048-664-2723

発行日：2009年8月9日